

東海教区報

発行所

東海教区教務所

愛知県名古屋市中区
門前町1番23号
TEL 052-321-0028
FAX 052-332-4097
info@tokai-hongwanji.net

編集

教務所長 熊谷正明
東海教区委員会 広報部



願記に関すること 再度の確認です。

- 願記申請冥加金（教区願記手数料合）につきましては**現金書留**、又は**ご持参**くださいますようお願い申し上げます
- 任期满后に伴う責任役員任命申請及び門徒総代届につきましては、満了日の**2ヶ月前**から書類を受理いたします
- 願記の**べ切**について
締切日の2週間前までに教務所まで提出いただきたくお願いいたします

教区門徒推進員のつどい開催について

日時 10月26日（木）
場所 〈拝観〉宝物館「燈炬殿」（津市一身田町 2819 ※真宗高田派専修寺内）
〈昼食〉高田会館和彩 AKARI（同上）
〈参拝〉真宗高田派専修寺（同上）
日程 11：00 宝物館「燈炬殿」拝観
12：00 昼食交流会
13：00 専修寺（御影堂・如来堂）参拝
14：00 解散
対象 教区内門徒推進員
参加費 2,000円
※お問い合わせは教区担当【富永】まで



門徒総代会「研修会」開催について

日時 11月24日（金）14：00～16：00
会場 【研修会】本願寺名古屋別院（Web 併用）
【懇親会】愛知県議員会館
テーマ 正信偈に聞く
講師 小野 正信さん（海幡組教蓮寺住職）
対象 教区内門徒総代
参加費 無料 ※懇親会参加者は5,000円
締切 11月15日（水）
※お問い合わせは教区担当【富永】まで



勤式練習所「勤式講習会」開催について

日時 Aコース 12月6日（水）14：30～17：30
Bコース 2024年1月20日（土）15：00～17：00
テーマ A「葬場勤行について」
B「正信偈（行譜）、念仏・和讃・回向について」
講師 A 青木 義恭さん（員弁組真慶寺）
B 教務所職員
参加費 A 1,200円 B 1,000円
※お問い合わせは教区担当【池村】まで



「寺院ホームページ掲載について」

現在、東海教区・名古屋別院ホームページの「お寺を探す」ページにおきまして各寺院の住所を掲載しております。各寺院でホームページを開設し、リンクをご希望される際は、東海教区教務所まで URL をご連絡ください。

（間違えないようメールの題名に「ホームページ掲載依頼」をお願いします）

info@tokaihongwanji.net

※お問い合わせは教区担当【桂】まで

東海教区行事案内

《10 月》

26 日 (木) 門推：門徒推進員のつどい



《11 月》

5 日 (日) 勤式講習会 (B コース)

8 日 (水) ~10 日 (金) 会計検査

21 日 (火) 広報部会 (Web)

24 日 (金) 門総：研修会 (Web 併用)

★本願寺名古屋別院より★

<常例布教>

それぞれ 10:00~、13:00~のおつとめ後です

11 月 5 日 (日) ~ 6 日 (月)

講師 佐々木 玲さん (員弁組欣浄寺)

講題 『金剛の信心』

11 月 15 日 (水) ~16 日 (木)

講師 宇野 淳信さん (岐阜教区岐厚組法光寺)

講題 『如来の作願をたずぬれば』

<昼の講座 (第 3 回) > 「お寺でいけばな」

11 月 4 日 (土) 13:30~15:30

講師 石黒 由里さん

(華道家元池坊華督 名古屋支部所属)

※お問い合わせは別院担当【亀山】まで

<夕べの講座 (第 4 回) > 【わたしの正信偈】

12 月 20 日 (水) 17:00~19:00

講師 玉木 興慈さん (大阪教区)

講題 『高僧和讃を読む 2』

※お問い合わせは別院担当【亀山】まで



西別院 HP↑

◎今後の名古屋別院・東海教区教務所に関する
各種行事等は予定変更の可能性もあります。

東海教区教務所より ※敬称略

敬弔

藤田 道美 (員弁組蓮成寺前坊守)

住職代務任命

吉田 寿範 (勢南組浄眼寺住職代務任命)

得度許可

三宅 咲幸 (名古屋組教西寺)
三宅 慶輝 (名古屋組教西寺)

願記に関すること 2022年度

※今年度の「得度習礼」は、全日程を締切致しました。

【教師教修 (宗務所)】

2024年

後期 1月 27 日 (土) ~ 31 日 (水) : べ切 12 月 18 日

通期 3月 19 日 (火) ~ 28 日 (木) : べ切 2月 8 日

【巡讀許可申請資格試験講習会 (宗務所)】

2024年

3月 6 日 (水) ~ 7 日 (木) : べ切 1月 18 日

べ切の2週間前に教務所まで

※お問い合わせは教区担当【亀山】まで



★「門徒総代会 研修会」に参加して テーマ「門徒総代とは？」 講師 高田篤敬さん

7月12日、名古屋別院で門徒総代会の研修会が開催され、貴重なお話を聞かせていただきました。

仏教国ブータンでは、人の喜ぶことをすれば白い石を一つ、人の悲しむことや悪いことをすると黒い石を一つもらい、死んだ時に白い石が多ければお浄土へ往生できるそうです。

親鸞聖人は二十九歳の時、比叡山でどんなに修業しても黒い石ばかり集まる自分に気が付いたそうです。一体どうすれば、自他ともに心豊かに生きることのできる社会を実現できるのでしょうか？

親鸞聖人は、凡夫の私が《仏さまになる命》を生きていくこと、と説かれました。つまり、煩惱にまみれた自分と向き合い、阿弥陀仏のご本願を心の依り所として《お念仏の道》を歩んでいくこと、と。

この教訓を胸に門徒総代として教化団体連携による組活動推進に尽力する所存です。

◎加納 俊彦（三重組浄覚寺門徒）

★「寺族青年連盟 寺族青年のつどい」に参加して

寺青のつどいでエンディング産業展に行っていました。出展されているブースは納棺に関わるもの、お墓、散骨、香典返し、お香、手元供養、ペット葬儀関連のものなど様々で、特にペット葬儀に関連するブースは多くありました。家族葬など、お葬儀が小規模化してきているなど感じています。なので、私は人の死後に関わることへの費用は少ない方がいいというような考えの人が多いのではないかと、勝手に想像していました。しかし、それは間違いなのかもしれないと感じました。納棺の際に入れる様々なもの。お骨を少し手元に置いて置ける手元供養。お骨を海や宇宙に撒く散骨。などなど、お値打ちだと思えるものからとても高価なものまで様々なものがありました。

これらのものを通して、ご門徒さん、もしくはあまりお寺に関わりの少ない方たちが「死」や「葬儀」についてどのように考え、向き合っているのかを、自分にはなかった視点から見ること、話をきくことができたように思いました。

◎内田 正海（三重組正覚寺）

★「勤式講習会（Bコース）」に参加して

今回私はBコースに参加させていただきました。携わりだしたのが最近ですので浅学ですが、私の知る限りではこういった講習会は珍しいと思い参加させていただきました。

Aコースが僧侶対象と記載されていたのでBコースは一般向けに軽く教えるのかと思っていましたが、本当に初歩から懇切丁寧に教えていただき、講習考査の補足や日頃気を付けていなかったところまで教えていただきました。参加者の方々もご年配の方から若めの方まで幅広く参加しており、気になる方は多いのだと感じました。

今後も続けていただきたいですし自己流で読んでいる部分が多かったと感じたので再確認の場としても大変ありがたかったです。Aコースもありますので、個人的にもAコースBコース共に参加していきたいです。

◎木村 優善（員弁組教楽寺）

★「寺院女性連盟 研修会」に参加して テーマ「現代社会と宗教」 講師 積徹宗さん

9月26日、『公開法座』（WEB併用）を開催し、100名近いご参加を得ました。昨年の安倍元首相銃撃事件から、現代宗教の問題（カルト問題や宗教2世）という言葉がクローズアップされ、社会や家庭の隅々で多くの悲劇を招いています。坊守として無関心ではられません。

積先生から専門家のお立場として、その原因と現状をお聞きして、私達が今後どのように活動したらよいのかを考えました。本願寺では「伝える伝道」から「伝わる伝道」をスローガンに掲げられましたが、積先生は更に「対話型コミュニティ」の確立を提唱されました。地縁、血縁が薄れゆく現在において、個人、家族、社会の場面で対話しながら、『宗教的成熟』を願うのが大きな目標であると話されました。

悩みを抱えた一人一人と語り合えるお寺になりたいと、決意を新たにしました。

◎渡辺 充子（三重組善正寺）

★各団体の行事や研修会に参加された声を紹介します★

★「少年連盟 本山参拝 親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要記念

キッズサンガ～本願寺児童念仏奉仕団～」に参加して

7月27(木)～28日(金)、キッズサンガ(児童念仏奉仕団)に、東海教区中勢組として子どもたち5名とともに参加しました。子どもたちは全員が初めての本願寺参拝でしたので、阿弥陀堂や御影堂を前にすると、思わず「大きいなあ。」「お坊さんがいっぱいいる。」と驚きの声を上げていました。

日曜学校でのお勤めとは随分雰囲気異なるお勤めに、最初は緊張した様子の子どもたちでしたが、2日目にはしっかりお勤めをしている声が聞こえてきましたので、とても嬉しい気持ちになりました。

ホームシックになってしまったり、荷物が鞆に入らなくて焦ったり、お晨朝でうとうととしてしまったりと、ひやひやすることもありましたが、うだるような暑さの中、一人の体調不良者もなく元気に全日程を終了することができました。

帰りのバスでは、「来年もまた来たい!」と子どもたちは早くも意気込んでおりましたので、来年もまた本願寺に参りたいと思います。

◎鈴木 摩彌子(中勢組西向寺)

★「第12回中部・北陸仏教婦人会大会」に参加して

テーマ「お念仏を伝えよう、私からあなたへ」 講師 萩 隆宣さん

今回は新型コロナウイルス感染症まん延による中止を挟んで、じつに5年ぶりの開催です。員弁組はバス1台、有志30名での参加となりました。

長良川国際会議場の入口では岐阜の名産品をはじめ、本願寺出版社による書籍販売などがあり、お土産にも困らない気配りが感じられました。

会場内ではご門主様ご臨席のもと、東海教区からは200名超の参加があり、まさに盛会でした。音楽法要の後、岐阜香光雅楽会による「陵王」の舞楽が催され、荘厳な雰囲気に包まれます。

記念法話は山口教区の萩隆宣師による「いのち恵まれ育まれ」をお聴聞しました。地元のお寺で行われているフードパントリーの取り組みを実例として、念仏者がご縁に応じて生きてゆくことによって恵まれる、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献することの大切さをお聞かせいただきました。

バスの中は終始賑やかな話の花盛りで、仏婦会員同士の交友を温める勝縁ともなりました。

◎松原 大致(員弁組光明寺)

★「第44回全国寺族青年野球大会」に参加して

コロナ禍を経て、4年ぶりに全国大会が開催されました。

寺族青年野球大会は、例年、9月末に京都府宇治市で開催され、北海道教区から鹿児島教区まで、今年は25チームが参加して行われました。

東海野球部は、これまで幾度となく全国制覇を成し遂げました。最近では、1995年、96年の連覇、そして2000年の優勝が直近となります。1996年の優勝の際には、2連覇ということで、瓶ビール2ケース、ビールかけをしました。(境内で)

さて、今大会は、1回戦、山陰・四州教区と対戦、各選手の奮闘により、8対2で見事勝利。2回戦、長崎教区の対戦、これも見事に打線が繋がって、16対1で勝利。そして、2日目(ベスト4)進出をかけた3回戦は前回大会準優勝の北海道教区と対戦、終盤の追い上げ及ばず8対6で敗退しました。この場を借りて、激戦を戦い抜いた選手の皆さんに感謝を申し上げます。

楽しく、身体を動かして、夏の暑さにも、冬の寒さにも負けず、法務に従事できる体力作りのために、一人でも多くの皆さんの参加をお待ちしております。(詳しくは、担当=安藤まで)

◎藤原 英城(朝明組円光寺)